

第1回 市民ワークショップ

「将来の信更をどんな地域にしたいか」

をテーマにグループ作業を行いました

6月17日(日)信更公民館で「地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

長野市や信更地区の公共施設の現状や課題などに関する説明のあと、地元の方を中心に24人のメンバーと信州大学工学部「梅干野(ほやの)研究室」の学生のみなさんでグループワークを行いました。

各グループで「こんな信更にしたい」「将来の信更のために必要な施設」をふせんに書いて討議し、そのまとめを発表していただきました。

終了予定時間を過ぎるほど、討議が盛り上がった回になりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



グループ作業の様子 熱心に話し合っていました

今後の予定		内容(予定)	会場
第2回	7月15日(日) 14:00-16:00	◇グループ討議 テーマ ～信更の公共施設でしたいこと・活動を考える～	信更公民館 (2階会議室)
最終回	8月26日(日) 14:00-16:00	◇グループ討議 テーマ ～信更の公共施設の将来像を考える～ ◇発表、まとめ	

◇途中からの参加も可能なワークショップです。見学のみも大歓迎！事前申し込み不要です。ぜひ会場にお越しください。

◇長野市公式ホームページ
「公共施設マネジメント推進課」に
当日の資料などを
掲載していますので、
ご覧ください。



【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話:224-7592

信更支所

電話:299-2111



《ワークショップの目的》

公共施設マネジメントの考え方にご理解いただくとともに、公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと市と一緒に考える地域の公共施設に関する試みです

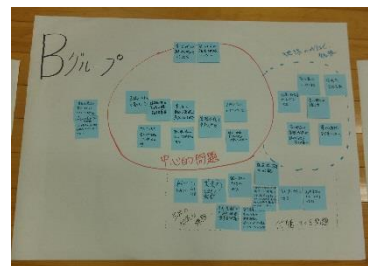
人口減少時代の中、地域の賑わいや活力あるまちづくりにつながる施設の集約化、多世代交流を生み出す複合化・多機能化など、様々なアイデアを公共施設再配置計画の参考にしたいと考えています

各グループの発表の一部を紹介します



【将来、こんな信更にしたい】

- ◇高齢者が生きがいを感じる地区
- ◇豊かな自然や田んぼの景色が残る地区
- ◇特産のりんごを活かした地区、アップルパイなどのお菓子の販売
- ◇働く場が確保された活動的な地区
- ◇若者が住みやすい地区、若者が定住できる魅力、若者の活動拠点
- ◇空き家の活用
- ◇子供が多く、にぎやかな地区
- ◇民泊、体験型ツーリズム、ワイナリーをやりたい
- ◇ひまわりが咲き、ホテルのきれいな地区
- ◇祭りやイベントを通じて関連人口＝交流人口を増やす
- ◇保育園・小・中学校が同じエリアに存在してほしい
- ◇子どもが住みたいと思える信更にしたい



参加者アンケートから

- ◆皆が信更の将来を考える機会が良い。
- ◆話し合いがもっと長いほうが意見も多く出そうだった。
- ◆明るい展望の話も多かったが、実際問題厳しい現実もあるので今後のワークショップが重要。
- ◆ファシリテーター、信大の学生さんたちのサポートがすごく良くて安心して参加できた。
- ◆公共施設は行政が考えれば良いと思っていたが、自ら考え、議論できる点がとても良かった。
- ◆地元の産業や自然を大切にしたいということがよくわかった。
- ◆信更町にずっと住んでいる人と、外の人とでは全く違った意見が出て面白かった。
- ◆楽しかった。同世代で意見を出し合う形は大事だと思った。 などなど・・・

アドバイザーの梅干野先生(信州大学工学部准教授)のコメントを紹介します



- ・ マイナスのイメージから入りがちな公共施設のワークショップで、他の地域と比べてもいい雰囲気での議論が行われていた。こんなに楽しそうにワークショップをしている地区は、あまりない。
- ・ 自分たちで地域の良さを感じていて、やりたいことのイメージが具体的にありということを感じた。それが信更の特徴。
- ・ 街づくりはやらされるとよくない。自主的に楽しみながらやることで成立するのが街づくり・地域づくりと思う。